



2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月14日

上場会社名 リファインバース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6531 URL http://www.r-inverse.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 琢 TEL03 (5643) 7890
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績（2018年7月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	1,235	8.7	△138	—	△152	—	△137	—
2018年6月期第2四半期	1,136	△1.0	37	△69.5	27	△76.3	73	△18.3

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 △137百万円 (—%) 2018年6月期第2四半期 73百万円 (△18.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	△45.73	—
2018年6月期第2四半期	24.36	24.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第2四半期	3,014	747	24.6	246.68
2018年6月期	3,102	882	28.3	292.42

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 741百万円 2018年6月期 878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	0.00	—
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,696	11.9	69	481.6	36	—	29	△47.6	9.98

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2019年6月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、新株予約権の行使を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期2 Q	3,004,950株	2018年6月期	3,004,950株
② 期末自己株式数	2019年6月期2 Q	100株	2018年6月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期2 Q	3,004,850株	2018年6月期2 Q	2,998,247株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくなる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(追加情報)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12
3. その他	13
継続企業の前提に関する重要事象等	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、海外経済や政策に関する不確実性の影響などもあり、先行きについて留意すべき状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、新規事業の製鋼副資材製造販売は生産ラインがフル稼働で生産・販売をしており、持続的な成長のための事業基盤が強化されてきております。また成長に不可欠な新規事業に係る積極的な研究開発投資は継続しており、その成果として早期の新規事業立上げが可能な状況となってきました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,235,796千円（前年同期比8.7%増）、営業損失138,542千円（前年同期は営業利益37,711千円）、経常損失152,937千円（前年同期は経常利益27,015千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失137,423千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益73,031千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、ホテル・オフィス関連を中心としたリニューアル需要は底堅く、使用済みカーペットタイルの調達量も順調に推移してきました。

また、底堅いリニューアル需要を受け、原状回復時のカーペットタイルの張り替え件数が増えていることに加え、インテリア業界においては環境対応製品の市場がさらに拡大しており、その基礎原料としての当社グループの製品に対する需要は引き続き堅調に推移しております。更に、新規事業として開始した製鋼副資材製造事業は強い需要に応じるために生産ラインはフル操業で供給しており収益に貢献しております。

一方で当第2四半期連結累計期間において、前期の課題となった新工場のライントラブルも解消し安定した生産状況が継続しております。また、原料在庫の整理に伴う費用や新規リサイクル技術の研究開発費等の費用が増加しました。

この結果、売上高は387,382千円（前年同期比11.6%増）となり、セグメント損失は86,741千円（前年同四半期はセグメント損失11,025千円）となりました。

② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、カーペットタイルリサイクルに関連したオフィス系改修工事に伴う内装系廃棄物処理は順調に推移しております。また、インバウンド需要に関連した商業施設やホテル等の大型改修工事にしても受注件数は安定的に推移しており、市場が拡大しているマンション等のリフォーム・リノベーション案件においても、解体工事から収集運搬・中間処理までの一括受注体制の強化が引き続き業績に寄与しております。しかしながら、廃棄物処理費用や外注費、燃料費などが増加したことが影響し、この結果、売上高は854,932千円（前年同期比6.7%増）となり、セグメント利益は73,266千円（前年同期比54.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,092,802千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ75,540千円減少しております。これは主として現金及び預金が31,942千円減少、未収還付法人税等が20,385千円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,854,569千円となり、前年度末と比べ4,716千円減少しております。これは、主として有形固定資産が6,615千円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産は67,100千円となり、前年度末と比べ7,470千円減少しております。これは、主として開業費が7,470千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は625,993千円となり、前年度末と比べ21,583千円減少しております。これは主として1年内返済予定の長期借入金金が51,620千円増加し、未払金が63,346千円減少し、未払法人税等が15,472千円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は1,640,808千円となり、前年度末と比べ68,496千円増加しております。これは、主として長期借入金金が88,834千円増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は747,670千円となり、前年度末と比べ134,640千円減少しております。これは、主として利益剰余金が137,423千円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績や今後の進捗状況を踏まえて現在精査しております。当該精査の結果、連結業績予想の数値を修正すべきと判断した場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	540,230	508,287
受取手形及び売掛金	346,021	327,184
商品及び製品	74,452	112,869
仕掛品	18,640	14,192
原材料及び貯蔵品	33,135	24,167
前払費用	37,494	22,408
未収還付法人税等	61,269	40,884
その他	57,404	43,357
貸倒引当金	△304	△550
流動資産合計	1,168,342	1,092,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	876,640	905,079
機械装置及び運搬具	801,124	884,124
工具、器具及び備品	76,806	77,379
土地	102,100	102,100
リース資産	111,533	115,117
建設仮勘定	24,915	39,063
減価償却累計額	△494,653	△631,012
有形固定資産合計	1,498,467	1,491,852
無形固定資産	11,259	12,437
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	30,000
繰延税金資産	206,040	206,040
敷金及び保証金	97,424	97,067
その他	17,936	17,881
貸倒引当金	△1,842	△708
投資その他の資産合計	349,559	350,280
固定資産合計	1,859,286	1,854,569
繰延資産		
開業費	74,570	67,100
繰延資産合計	74,570	67,100
資産合計	3,102,200	3,014,472

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,973	43,995
1年内返済予定の長期借入金	291,592	343,212
リース債務	27,876	31,197
未払金	192,196	128,850
未払費用	50,535	44,139
未払法人税等	17,800	2,327
未払消費税等	5,511	22,628
その他	13,090	9,642
流動負債合計	647,577	625,993
固定負債		
長期借入金	1,325,652	1,414,486
リース債務	54,420	47,212
資産除去債務	149,095	152,292
繰延税金負債	43,144	26,818
固定負債合計	1,572,312	1,640,808
負債合計	2,219,889	2,266,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	408,372	408,372
資本剰余金	456,410	456,410
利益剰余金	13,978	△123,444
自己株式	△96	△96
株主資本合計	878,665	741,241
新株予約権	3,645	6,428
純資産合計	882,310	747,670
負債純資産合計	3,102,200	3,014,472

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年7月1日 至 2017年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2018年12月31日）
売上高	1,136,694	1,235,796
売上原価	808,888	1,010,268
売上総利益	327,805	225,528
販売費及び一般管理費	290,094	364,071
営業利益又は営業損失（△）	37,711	△138,542
営業外収益		
受取利息	3	205
物品売却益	—	741
作業くず売却益	1,017	108
その他	1,656	544
営業外収益合計	2,676	1,599
営業外費用		
支払利息	7,906	8,516
開業費償却	5,446	7,470
その他	18	6
営業外費用合計	13,371	15,993
経常利益又は経常損失（△）	27,015	△152,937
特別利益		
固定資産売却益	—	1,002
特別利益合計	—	1,002
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	27,015	△151,934
法人税、住民税及び事業税	1,827	1,815
法人税等調整額	△47,842	△16,326
法人税等合計	△46,015	△14,510
四半期純利益又は四半期純損失（△）	73,031	△137,423
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	73,031	△137,423

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,031	△137,423
四半期包括利益	73,031	△137,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,031	△137,423
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	27,015	△151,934
減価償却費	59,855	83,102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△738	△888
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,456	—
受取利息及び受取配当金	△3	△205
支払利息	7,906	8,516
有形固定資産売却損益(△は益)	0	△1,002
売上債権の増減額(△は増加)	△33,126	19,970
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,026	△25,002
仕入債務の増減額(△は減少)	△908	△4,978
未払金の増減額(△は減少)	30,803	△48,226
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,033	18,959
未収消費税等の増減額(△は増加)	△16,452	11,560
その他	9,308	11,014
小計	49,144	△79,114
利息及び配当金の受取額	3	205
利息の支払額	△5,607	△6,399
法人税等の支払額	△63,015	△53,606
法人税等の還付額	63,451	61,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,975	△77,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17,000	—
定期預金の払戻による収入	12,000	27,000
有形固定資産の取得による支出	△492,678	△82,040
有形固定資産の売却による収入	—	4,482
無形固定資産の取得による支出	△960	△1,428
敷金及び保証金の差入による支出	△270	△74
敷金及び保証金の回収による収入	1,396	210
繰延資産の取得による支出	△53,447	—
その他	△3,499	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△554,458	△51,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△647,000	—
長期借入れによる収入	1,135,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△108,142	△159,546
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,500	—
リース債務の返済による支出	△12,668	△15,901
財務活動によるキャッシュ・フロー	374,689	124,552
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△135,794	△4,942
現金及び現金同等物の期首残高	670,890	487,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	535,096	482,853

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年7月1日 至 2017年12月31日）

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2018年12月31日）

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	336,472	800,222	1,136,694	1,136,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,535	1,141	11,677	11,677
計	347,008	801,363	1,148,371	1,148,371
セグメント利益又は損失 (△)	△11,025	160,016	148,990	148,990

2. 報告セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	148,990
セグメント間取引消去	△366
未実現利益の調整額	△1,396
全社費用(注)	△109,516
四半期連結損益計算書の営業利益	37,711

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	382,261	853,535	1,235,796	1,235,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,121	1,396	6,518	6,518
計	387,382	854,932	1,242,315	1,242,315
セグメント利益又は損失 (△)	△86,741	73,266	△13,474	△13,474

2. 報告セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△13,474
セグメント間取引消去	△47
未実現利益の調整額	△3,888
全社費用（注）	△121,131
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△138,542

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(新規事業の開始)

当社は2019年1月10日開催の取締役会において、ナイロンリサイクルビジネス拡大を目的とした新規事業の開始を決議しました。

1. 新規事業の内容

(1)名称	リファインバース一宮工場
(2)所在地	愛知県一宮市（敷地及び建物は賃貸借契約済み）
(3)事業内容	主に使用済みナイロン樹脂のリサイクル事業
(4)投資予定額	約170百万円
(5)取得する資産	リサイクル処理装置等

2. 新規事業の開始時期

2019年4月1日（予定）

3. 業績への影響

今回のナイロン事業立ち上げは2019年4月の予定である為、2019年6月期の業績に与える影響は軽微となる見込みであります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。